

② 日本犬展覧会

41.6.16 郡山市芳山小学校跡
 (優良日本犬章候補犬) 紅賀沙号、三代紅助号、
 コロ富久号

(6) 銃砲刀剣類の登録

銃砲刀剣類所持等取締法に基づく、銃砲刀剣類の登録ならびに登録証再交付・所有者変更届の件数は次のとおりである。

- ① 登録審査の状況(別表)
- ② 再交付件数 46件
- ③ 所有者変更届出件数 800件
(別表)

| 審査月日 | 開催場所 | 審査委員 | 登録件数 | 備考 | |
|---------|-------|-------|--------|------|--|
| 41 5.24 | 会津若松市 | 鈴木・青木 | 209件 | (臨時) | |
| 6 13 | 郡山市 | " " | 429 | | |
| 7 1 | 原町市 | 青木・平原 | 200 | | |
| 8 10 | 福島市 | " " | 384 | | |
| 10.25 | いわき市平 | 佐藤・平原 | 280 | | |
| 11.16 | 会津坂下町 | 鈴木・平原 | } 245 | | |
| 17 | 喜多方市 | " " | | | |
| | | 計 | 1,747件 | | |

第8節 新生活運動

1 新しい村・町づくり運動

昨年度から引続いて下記の地区を実践地区として指定し、研究集会などを通じて相互交流を図り、運動を推進している。実践地区には、この運動の代表者と、この運動のための実際協力者、労力提供者として、連絡世話人1名を設置している。実践地区も満2年を経過し、その地区によっては次のように相当高度な技術的指導を必要とするものもある。

- 農業構造の改善
 - イ 農業近代化のための基盤整備
 - ロ 規模拡大のための山林原野の高度利用
 - ハ 作目の整備と専門化
- 青少年非行問題に対する態勢の確立
- 家庭生活の合理化

研究集会は実践地区を会場地として行なっている。地元あるいは中央から講師を招いて専門的技術的な講演をきいたり、実地に指導を受けたりしている。しかし、前記のように具体的専門的知識を必要とする段階にいたれば、この運動も当初の目的を達成したものと考えてよいと思う。この運動は、住民の盛り上げる意欲がなければならない、生活向上のための意欲的な活動が集団となって運動となり、自主的な組織づくりができあがることをねらいとしているものである。

安達郡東和町におけるこの運動もようやく全町的運動への機運がめばえており、これが達成されることを期待している。また、西白河郡表郷村においても一部の地区が意欲的な活動を推進しており、将来が楽しみである。

(実践地区) ○安達郡東和町 ○西白河郡表郷村 ○岩瀬郡鏡石町 ○いわき市四倉町 ○耶麻郡熱塩加納村

2 明るい職場づくり運動

この運動は、昭和40年度に県推進委員会と推進事業場を協賛してすすめてきた。「明るい職場づくり運動」は、そこで働く人々

が、職場での問題に積極的にとり組み協同して解決していく過程において、生活の態度・姿勢をつくり、人間性をとりもどし充実していく運動であるから、この運動も労使双方の参加による自主的な運動組織ができることについて指導を行なっている。

本年度は、県推進委員会の中に推進事業場からも参加を求め、また、専門の分野からこの運動を推進してもらうため、福島大学にも委員を委嘱している。推進事業場も昨年の2倍にふやして他への波及をねらった。(下記)

運動をすすめるために、年数回の研究集会を開催している。推進事業場から経営者、担当者、労組代表、などの参集を求め、協会職員あるいは講師などによる越旨の説明、具体的推進方策などについて研究協議を行なっている。また、県推進委員・推進事業場代表者とともに先進県である茂城県日立市における事業場の視察を実施して効果をあげた。来年度は実際に事業場・商店などを訪問して具体的な研究と講演会・座談会などにより運動の越旨の理解徹底を図るとともに、実地指導をおすすめる方針である。

(推進事業場)

- 日東紡績(株)郡山工場 笠原工業(株)須賀川工場
- 日本全業工業(株) 福島製鋼(株)
- (株)福島製作所 保土谷化学工業(株)郡山工場
- 協三工業(株) 北芝電機(株)
- 東北沖電気(株) (株)亀宗

3 国土美化運動

昨年度から人口10万以上の都市に対して活動費6万円あて交付して、都市美化運動を展開しているが、その成果は大きいものがある。対象は福島市、郡山市、会津若松市であるが福島市はモデル地区を設定して町内が一丸となり、環境の衛生美化、側溝の清掃、公害対策などについて研究と実践活動をすすめており、会津若松市では主婦連などが中心となって花いっぱい運動など観光会津を目標に市街の美化と、市民の公德心の高揚を図っている。また、郡山市は従来から「まちをきれいにする会」が結成されており、市からの助成金などもあって、全市的な運動を展開している。各市には市民を主体とした推進委員会を設置して、それに関係行政などから参加している。

県協議会の活動としては、今年度は「尾瀬を美しく」を課題としてとりあげ、県婦連、青少年団体などの協力により、くずかごの配置、美化ペナントの配布、ポスターの掲示などによるPR、地元婦人会による清掃実践活動等を行なった。

毎年8月には全国いっせいに公衆道徳高揚運動を展開しているが、この期間には福島市を中心として民間団体の協力のもとに実践活動を推進して効果をあげた。

4 生活学校運動

生活学校とは、財団法人新生活運動協会の提唱により、昭和39年7月にはじまったものであり、昨年度までに全国で140校をかぞえるにいたっている。この運動は非常によい成果をあげており、昭和42年度は新規校を220校として計画をたてている。

本県では、昭和41年度はじめていわき市勿来に1校だけ開設された。